

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

ため池には生き物がいっぱい

魚のゆりかご水田学習会 in 川原

6月23日（月）、桜谷小学校5年生23人が、田んぼの稚魚の引越しを行いました。日野川流域土地改良区が主体となり、滋賀県との協力で実施され、川原在住の有志の方も参加されました。

子どもたちが5月に田んぼへ放流した親ブナが産卵し、稚魚へと成長しました。網を使って稚魚を捕るだけでなく、田んぼやため池に住んでいるホンモロコ、ウキゴリ、ヨシノボリ、ドジョウも捕まえました。その後は、琵琶湖博物館の中尾博行博士から、生き物の詳しい説明を聞き、実際に捕まえた生き物について学習を深めていました。最後はみんなで佐久良川へ放流しました。



▲中尾博士の話を熱心に聞く子どもたち

子どもも大人も楽しみました▶



▲大きなナマズにびっくり!

後世に引き継ぐ 地域の自然環境を

内池東で生き物調査

内池東農業組合では、地域の皆さんと協働し、「内池農村エコファームリー」として、「農地・水・環境保全向上対策事業」に取り組みられています。

6月15日（日）、内池東集落北側の農業用排水路を利用して、「NPO蒲生野老現倶楽部」の協力のもと、生き物調査が行われました。水路に入ると、子どもも大人も、夢中で生き物を探し、ザリガニやゴリなどを見つけました。また、出雲川に投網を打つと、体長50cmにもなるナマズが現れ、子どもたちは大喜び。

地域の環境保全への活動は、これからも続いていきます。

小さな力士たちに熱い声援

第31回日野町少年少女すもう大会

6月22日（日）、大谷公園体育館で毎年恒例のすもう大会が開催されました。男子40チーム、女子38チームの合計234人が出場しました。

「がんばれー!」のこった、のこったー!と、熱い声援が送られる中、子どもたちは力いっぱい相撲をとっていました。2回の物言いがついて、取り直しになった試合も。勝負が決まると、力を出し切った子どもたちに、温かい拍手が送られていました。

結果は、総合優勝は西大路小学校、準優勝は日野小学校、第3位は必佐小学校となりました。

▶土俵際に持ち込んだの接戦





まちのわだい



みぞえ てっぺい 三添哲平くん

かわかみ ゆうと 川上悠斗くん

おくら ふうか 小倉風花さん

おくむら ななみ 奥村七海さん

たなか てん 田中天くん

やまや なおき 山谷直輝くん

▲日本選手権大会で大活躍の6人です！

カロム日本選手権大会で入賞！
 「太陽の子」と「ヒノキオ」の子どもたちカロムは、おはじきとビリヤードの要素を組み合わせたようなゲームで、彦根市が発祥の地です。

6月15日(日)、彦根市松原町の市民体育センターでカロムの日本選手権大会が行われ、日野町から参加した6名が入賞されました。学童保育所太陽の子とヒノキオでは、みんながよくカロムをして遊び、毎年夏には「日野町カロム大会」を開いているとのこと。今回の大会でも、両学童保育所の子どもたちが活躍されました。皆さん、おめでとうございます。



▶ 棚田の形がきれいに現れました



▶ 竜王山登山口にも完成！



7月12日(土)、熊野区と熊野ワークス企業組合の主催により、棚田保全活動が行われました。大阪、京都、草津など町外からの参加者もありました。

区民の方の指導のもと、腰くらいまでの高さになった草を、草刈り機を使って刈りました。中には、初めて草刈り機を使用する参加者もありました。交流会は、グリム冒険の森で、そうめん流しを行い、楽しい交流の時間を持ちました。希望者には「熊野の滝」への案内をしてくださるなど、区民の方の温かい「おもてなし」に、参加者も充分熊野を満喫できた一日でした。

この活動は8月30日にも熊野でされる予定です。

熊野の棚田をきれいにしよう

町内外から草刈ボランティアが集結

安心な登山には登山届の記入を
 鈴鹿モルゲンロートクラブが登山届箱を設置

6月28日(土)、綿向山の西明寺口バス停にあるトイレ横と竜王山登山口に「登山届箱」を設置されました。この登山届箱は、鈴鹿モルゲンロートクラブが、登山者のためにボランティアで設置されました。

50cmの穴を掘り、約2時間かけて設置。手作りの登山届箱は、木の暖かさが、色合いも綿向山の雰囲気と調和しています。

登山をするときは、登山届を書いて登ることが大切です。安心安全な登山をするために、遭難防止のために、必ず登山届を記入して入山してください！